



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立有明小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

昨年度から開放図書館として、保護者や地域の方も利用できるようになりました。午前中は、子どもの活動として、午後は図書ボランティアの方の活動として、本の貸出・返却がされています。

今年度も新規に100冊程度の図書を購入しました。小規模校のため、“図書室”がなく、蔵書を保管するスペースがありません。『購入本のリクエスト』という声を聴くアンケートボックスを準備し、子どもたちが読書へ関心を高められそうなものを購入する工夫もしています。



購入日	書名/作書名	お気に入り
1月 日		☆☆☆☆☆☆
2月 日		☆☆☆☆☆☆
3月 日		☆☆☆☆☆☆
4月 日		☆☆☆☆☆☆
5月 日		☆☆☆☆☆☆
6月 日		☆☆☆☆☆☆

また、読書貯金通帳の取組も始め、足跡も確認しながら、楽しみも加えて、読書に浸る子が増えています。

学習センターとしての機能

国語や理科、社会など、教科で調べ学習に取り組むとき、総合的な学習の時間で調べたものを新聞やレポートにまとめるとき、図書コーナーの本が使われています。事典等の資料を活用したり、まとめ方そのものを調べて参考にしたり、子どもたちは工夫して活用しています。

1人1台端末を活用することで、インターネット検索等は身近で容易なものとなっています。それと並行して、事典等の詳しい挿絵や資料をじっくり見ながら調べることができ、より深い学びにつなげることができています。



また、校外学習に臨む際にも図書資料を活用して事前学習に取り組んでいます。

情報センターとしての機能

本校の「アカゲラコーナー」には、沿革史を始めとした当時の貴重な資料が残っています。本校が特認入学指定校となり、校区外からも児童が通うようになってからは、有明地区の歴史について知る機会として地域の方々との交流する場としても活用されています。



昨年度から“開放”としての役割も始まったことで、本校の児童だけでなく、保護者や地域の方々も利用が可能となりました。多くの方々にご利用いただくことで、様々な情報交換の場となるだけでなく、校区外から通学している児童と地域を結ぶ役割を担うことができると考えています。



また、校外学習に臨む際にも図書資料を活用して事前学習に取り組んでいます。